

芸西村教育施設集約化 第1回ワーキング部会

令和7年5月29日

芸西村教育委員会
復建調査設計(株)

本日のプログラム（流れ）

1. 事業の経緯と今年度の取り組み【5分】
 - 1.事業の背景と事業方針
 - 2.経過説明～今年度の取り組み
2. R6基本計画案についての説明【15分】
 - 1.基本構想の概略
 - 2.基本計画の説明
3. 第1回住民説明会の意見と対応～WS進め方【15分】
 - 1.住民説明会の意見と対応について
 - 2.本日のWS（ワークショップ）の進め方
4. 班ごとのWS／テーブルワーク【60分】
 - 1.プロジェクト（施策）の点検・意見交換
 - 2.まとめ～発表準備
5. 発表・振り返り【20分】
6. 閉会あいさつ～集合写真～散会

1. 事業の経緯と今年度の取り組み

- ◆教育施設集約化事業について
～事務局より口頭説明
- ◆事業の進捗状況について
～事務局より口頭説明
- ◆校舎配置案（基本計画）と住民説明会の結果について
～復建調査設計（株）担当者より、以降にて説明

3

1. 事業の経緯と今年度の取り組み

- ・役場中堅職員（保育所・幼稚園含む）による
プロジェクトチームによる検討
- ・基本構想策定（各所属長・各PTA会長・民生児童
委員・教育委員による検討委員会で検討）
- ・基本計画策定《現在作業中》
（上記検討委員会で検討）

4

2. 教育施設基本計画案について



令和7年3月
高知県安芸郡芸西村
復建調査設計（株）



【事業の背景】

- 社会的に児童生徒数が減少し、芸西村でも昭和55年と比較すると62%減となっている。令和13年には昭和55年と比較し、約77%減と推計されている。
- 高度成長期に建設された学校が多く、建設後40～50年が経過し、建て替えを検討している市町村は多く、複数ある学校を統合する市町村の動きもある。
- 芸西村では、**村内には保育園・幼稚園・小中学校が各1施設のみであるが、それぞれの施設の老朽化が進行し、生徒数減少により小中学校の空室が増加しており、この4つの教育保育施設を一つの敷地に集約し、利便性の向上や施設管理の効率化を推進したいと考える。**
- **現在の幼稚園・小学校の敷地は、津波浸水エリア（L2）の範囲外にあり、また前面道路は2車線の幹線道路になっており、村民の目が届きやすく防犯上好ましく、近隣に役場、図書館や駐在所等の公共施設が立地しており、好立地条件となっていることから、この敷地を中心に検討を進めるものとする。**
- 平成5年度には、現在の幼稚園・小学校の敷地のみに集約化を行う「A案」と、南西隣の民地（農地）までを敷地として利用し、集約化を行う「B案」との2案を比較検討して、「B案」を基に、今年度基本計画検討を行った。

【生徒数の変化に応じた将来対応】

- 小学校・中学校については、「小中学校の学級の算定」の項に示したように、「**公立学校施設費国庫負担金に関する関係法令等の運用細目による算定**」を基準としている。

→ 小学校6クラス (+ α)、中学校3クラスを基本

- 幼稚園・保育園を統合する認定こども園の人数等の設定条件は、「**認定こども園の必要諸室算定**」の検討と協議結果から、145人の定員とする。

→ 6園室 (+ α)

※「将来人口の推計値」にあるように、国の（何も手立てをしない場合の）推計値では、村の人口・生徒数が急激に減少するため、「**新校が維持存続できる人口施策が展開されることを前提に学級と規模を設定**」した。

7

【集約化の事業方針】

■ 事業理念

「児童生徒の成長に合わせて、
連携の取れた密度の濃い教育施設の創造」

保幼小中一貫教育により、保育所・幼稚園での保育成果を効果的に小学校低学年時教育、高学年教育から前期中等教育へ引き継ぐ。

無駄を省き一貫性を持たせた体系的な教育を展開する。

■ 新しい時代の学びを実現する学校の姿（ビジョン）

「地域とともに輝く学校づくり」
「自ら進んで学べる・取り組める子どもの育成」

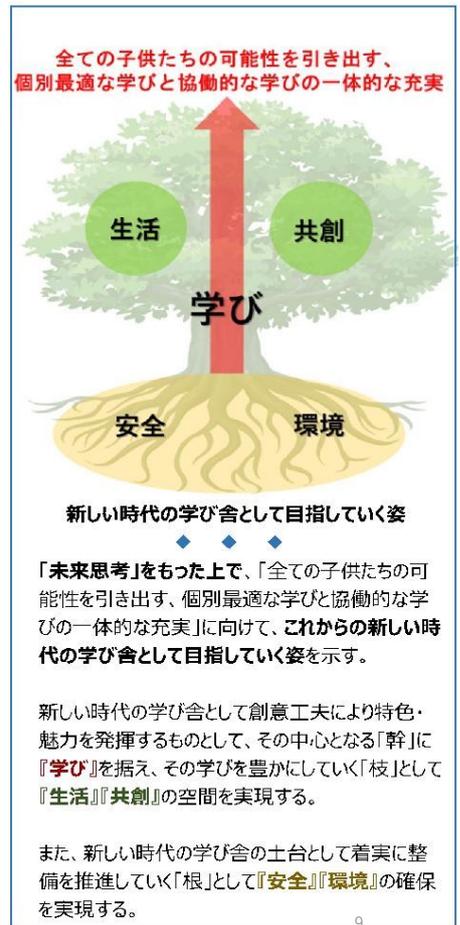
8

【方向性】

(文部科学省の記載内容引用転載)

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方 (5つの姿の方向性)

1. 学び：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
2. 生活：新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
3. 共創：地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
 → **コミュニティスクールの推進**
4. 安全：子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
5. 環境：脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現



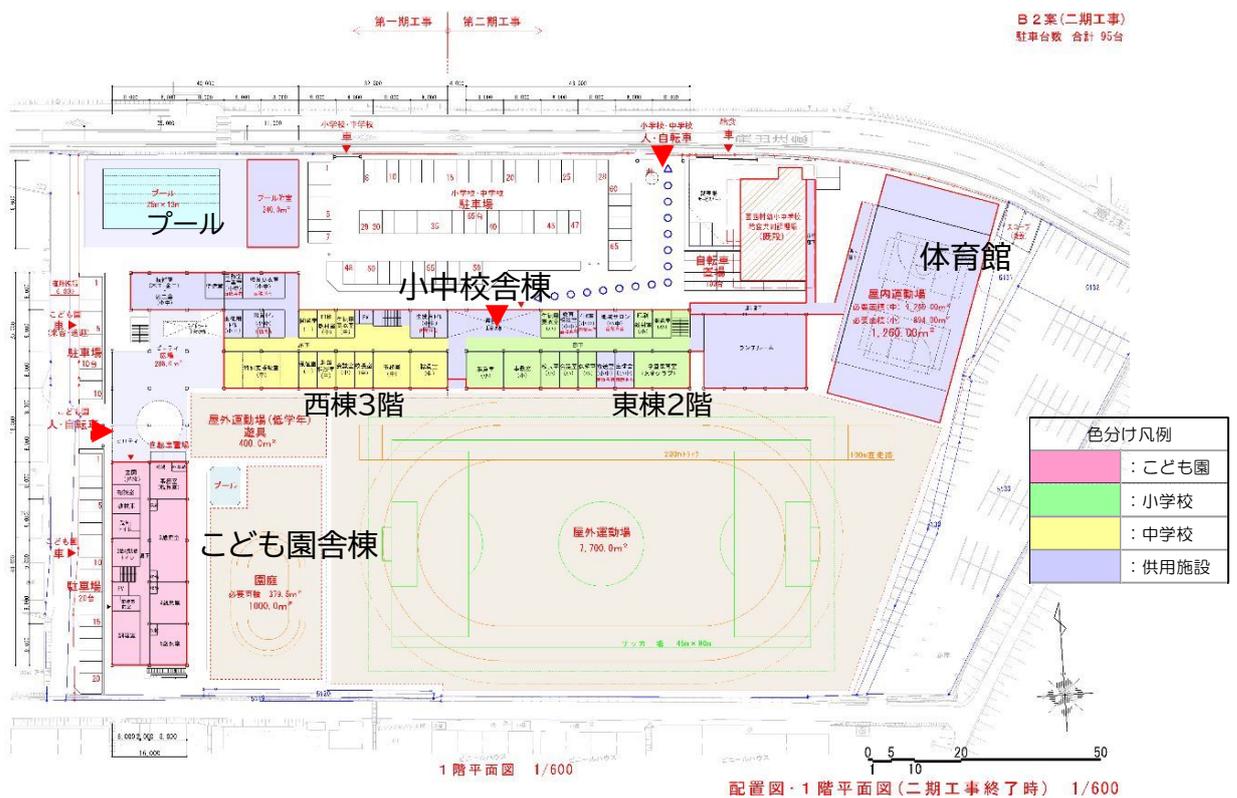
【基本構想案】

【凡例】 ◎：とても良い ○：良い、△：良くない、▲：悪い			
建設敷地（敷地面積）	<table border="1"> <tr> <td>小学校・幼稚園の現有敷地に合築するケース（16,781㎡）</td> <td>現有敷地に民間農地を含めて合築するケース（21,915㎡）</td> </tr> </table>	小学校・幼稚園の現有敷地に合築するケース（16,781㎡）	現有敷地に民間農地を含めて合築するケース（21,915㎡）
小学校・幼稚園の現有敷地に合築するケース（16,781㎡）	現有敷地に民間農地を含めて合築するケース（21,915㎡）		
建替えスキーム	<table border="1"> <tr> <td>A案 校庭に仮設校舎を建設し、こども園は現食堂跡に新築、現小学校を解体して新校舎等を建設する</td> <td>B案 体育館・プール跡に小学校新校舎、小学校跡に中学新校舎・体育館を建設、こども園は拡張敷地に建設する</td> </tr> </table>	A案 校庭に仮設校舎を建設し、こども園は現食堂跡に新築、現小学校を解体して新校舎等を建設する	B案 体育館・プール跡に小学校新校舎、小学校跡に中学新校舎・体育館を建設、こども園は拡張敷地に建設する
A案 校庭に仮設校舎を建設し、こども園は現食堂跡に新築、現小学校を解体して新校舎等を建設する	B案 体育館・プール跡に小学校新校舎、小学校跡に中学新校舎・体育館を建設、こども園は拡張敷地に建設する		
配置図（縮小版）			
建築計画の延面積	<table border="1"> <tr> <td>8,500㎡</td> <td>9,200㎡</td> </tr> </table>	8,500㎡	9,200㎡
8,500㎡	9,200㎡		
階数	<table border="1"> <tr> <td>中学3階、小学3階、こども園2階</td> <td>中学3階、小学3階、こども園1階</td> </tr> </table>	中学3階、小学3階、こども園2階	中学3階、小学3階、こども園1階
中学3階、小学3階、こども園2階	中学3階、小学3階、こども園1階		
仮設校舎・園舎の有無	<table border="1"> <tr> <td>▲ A1：仮設校舎が必要（仮設園舎は不要）</td> <td>◎ B1：仮設校舎・仮設園舎ともに不要</td> </tr> </table>	▲ A1：仮設校舎が必要（仮設園舎は不要）	◎ B1：仮設校舎・仮設園舎ともに不要
▲ A1：仮設校舎が必要（仮設園舎は不要）	◎ B1：仮設校舎・仮設園舎ともに不要		
施設配置・構成のバランス	<table border="1"> <tr> <td>△ ○東から、こども園→小学→中学→体育館 △こども園2階建 △囲まれた中庭に駐車場と校門確保</td> <td>○こども園は南西、道路側に小学→中学→体育館 ◎こども園平屋 △前面道路側に中庭に駐車場と校門確保 △こども園は前面道路から奥手</td> </tr> </table>	△ ○東から、こども園→小学→中学→体育館 △こども園2階建 △囲まれた中庭に駐車場と校門確保	○こども園は南西、道路側に小学→中学→体育館 ◎こども園平屋 △前面道路側に中庭に駐車場と校門確保 △こども園は前面道路から奥手
△ ○東から、こども園→小学→中学→体育館 △こども園2階建 △囲まれた中庭に駐車場と校門確保	○こども園は南西、道路側に小学→中学→体育館 ◎こども園平屋 △前面道路側に中庭に駐車場と校門確保 △こども園は前面道路から奥手		
屋外運動場の確保	<table border="1"> <tr> <td>△150mトラック+直走路80m △サッカーコート40m×80m △小中の共同利用では小さい</td> <td>◎200mトラック+直走路100m ◎サッカーコート45m×90m以上 ◎各校舎園舎ごとに園庭が十分に確保される</td> </tr> </table>	△150mトラック+直走路80m △サッカーコート40m×80m △小中の共同利用では小さい	◎200mトラック+直走路100m ◎サッカーコート45m×90m以上 ◎各校舎園舎ごとに園庭が十分に確保される
△150mトラック+直走路80m △サッカーコート40m×80m △小中の共同利用では小さい	◎200mトラック+直走路100m ◎サッカーコート45m×90m以上 ◎各校舎園舎ごとに園庭が十分に確保される		
登校・登園・車両の動線	<table border="1"> <tr> <td>△ ○登校は中央部、登園は東部から、いずれも前面道路から直接 △こども園と駐車場は村営駐車場に確保（駐車樹割り直しが必要）</td> <td>◎ ○通学路の中央部から出入り ◎正門付近は歩行者専用、西側に駐車場を集約して歩車分離</td> </tr> </table>	△ ○登校は中央部、登園は東部から、いずれも前面道路から直接 △こども園と駐車場は村営駐車場に確保（駐車樹割り直しが必要）	◎ ○通学路の中央部から出入り ◎正門付近は歩行者専用、西側に駐車場を集約して歩車分離
△ ○登校は中央部、登園は東部から、いずれも前面道路から直接 △こども園と駐車場は村営駐車場に確保（駐車樹割り直しが必要）	◎ ○通学路の中央部から出入り ◎正門付近は歩行者専用、西側に駐車場を集約して歩車分離		
駐車台数の確保	<table border="1"> <tr> <td>○ ○78台（現有台数は確保）←村営駐車場の割付直し整備後</td> <td>◎ ◎99台確保（現有台数以上に確保）</td> </tr> </table>	○ ○78台（現有台数は確保）←村営駐車場の割付直し整備後	◎ ◎99台確保（現有台数以上に確保）
○ ○78台（現有台数は確保）←村営駐車場の割付直し整備後	◎ ◎99台確保（現有台数以上に確保）		
ランチルームの確保	<table border="1"> <tr> <td>△ △不可</td> <td>○ ○可能</td> </tr> </table>	△ △不可	○ ○可能
△ △不可	○ ○可能		

【現在の敷地と幼稚園・小学校の状況】



【集約化後の教育施設の配置計画案】



1階平面図 1/600

配置図・1階平面図(二期工事終了時) 1/600

【基本計画案】 基本的な考え方 1

【小・中学校の一体化の基本的考え方】

- ・両校は複合施設となり独立した運営し、将来的には「義務教育一貫校」となる計画とする。

【施設配置計画】

- ・敷地北側に小中校舎群を、南側にグラウンド（屋外運動場）の配置する。
- ・こども園～小学校～中学校の進学順の配置とし、幼保小連携～交流がしやすい配置計画とする。
- ・「工事計画」では、建て替えのための「仮設校舎は設定しない」基本方針とする。 →詳細は、後段のステップ図（工事段階図）にて説明

【周辺環境への配慮】

- ・隣接地域はビニールハウス栽培等の農地となっており、建築物の日影障害などの影響がない小さい計画とする。

【災害対策等】

- ・建物強度や耐久性の確保、屋上等のスムーズな避難移動が可能な計画とする。

【木材利用への配慮】

- ・「高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例」等に則り、出来るだけ木材利用、地域材等を利用した内装等の木質化を計画する。

13

【基本計画案】 基本的な考え方 2

【普通教室】

- ・普通教室は小学校6教室、中学校3教室を確保して、教室の大きさは、縦8.0m×横8.0mの64㎡とする。30人学級を基本とする。

【特別教室ほか】

■小学校：理科室、音楽室、保健室、特別支援教室（3室）など

→図画工作室は、中学校の「美術室・技術室」を共用

→家庭科室は、中学校の「被服室・調理室」を共用

■中学校：理科室、音楽室、美術室、技術室、被服室、調理室、特別活動室、教育相談室、進路資料・指導室、保健室、特別支援教室（4室）等

【一体化する施設】

- ・体育館・図書館・プール（置き床か昇降式を想定）・ワークスペース等

【階層計画】

- ・校舎棟は3階建て以下、こども園舎について2階建て以下とする。
- ・こども園舎については津波浸水災害時の容易な避難が可能な工夫をする。

【動線交通計画】

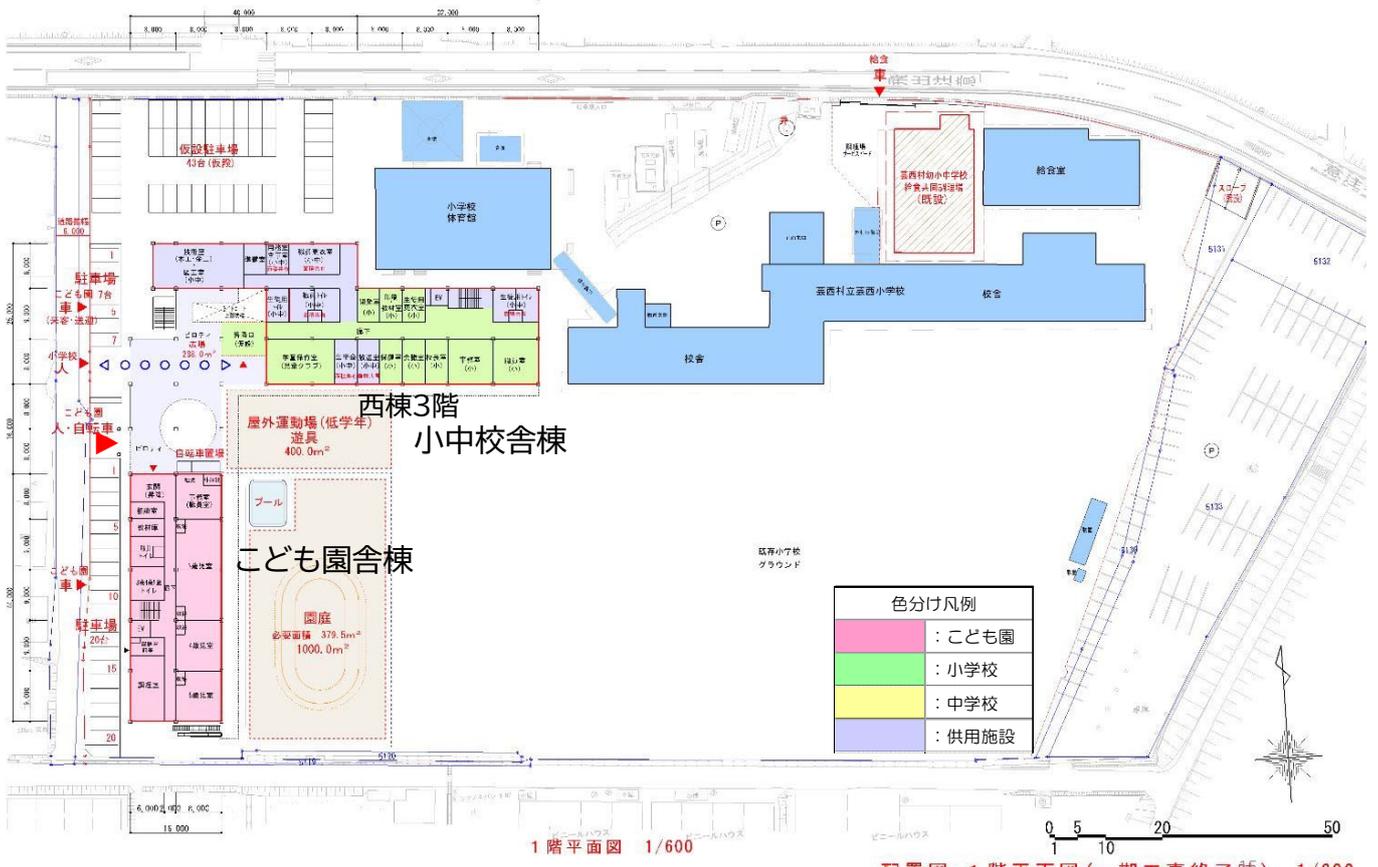
- ・北側の前面道路から侵入とし、歩行者・車両は分離した出入り口とし、場内に関係者駐車場を現状の台数以上を確保する。
- ・こども園への出入りとなる村道は拡幅し、車両等通行を円滑性を確保する。

14

【基本計画案】

第一期工事 ← 第一期工事終了時

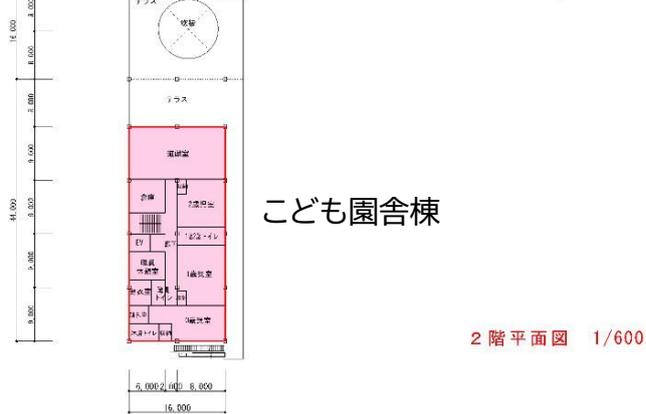
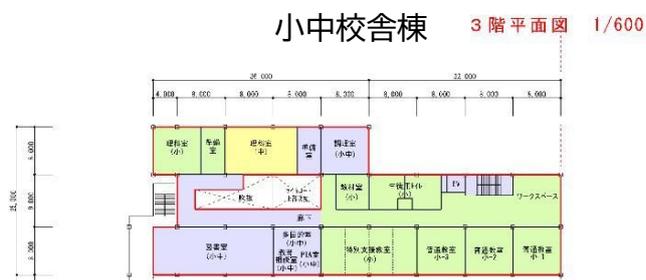
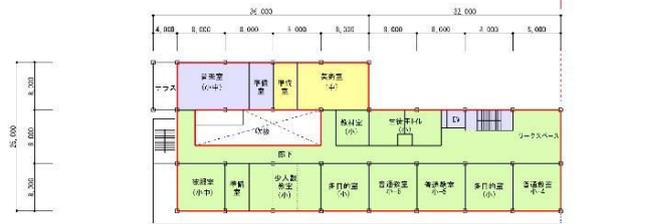
B2案(一期工事)
 駐車台数 合計 70台
 (仮設を含む)



【基本計画案】

第一期工事 ← 第一期工事終了時

B2案(一期工事)



色分け凡例

色分け凡例	
ピンク	: こども園
緑	: 小学校
黄	: 中学校
青	: 供用施設

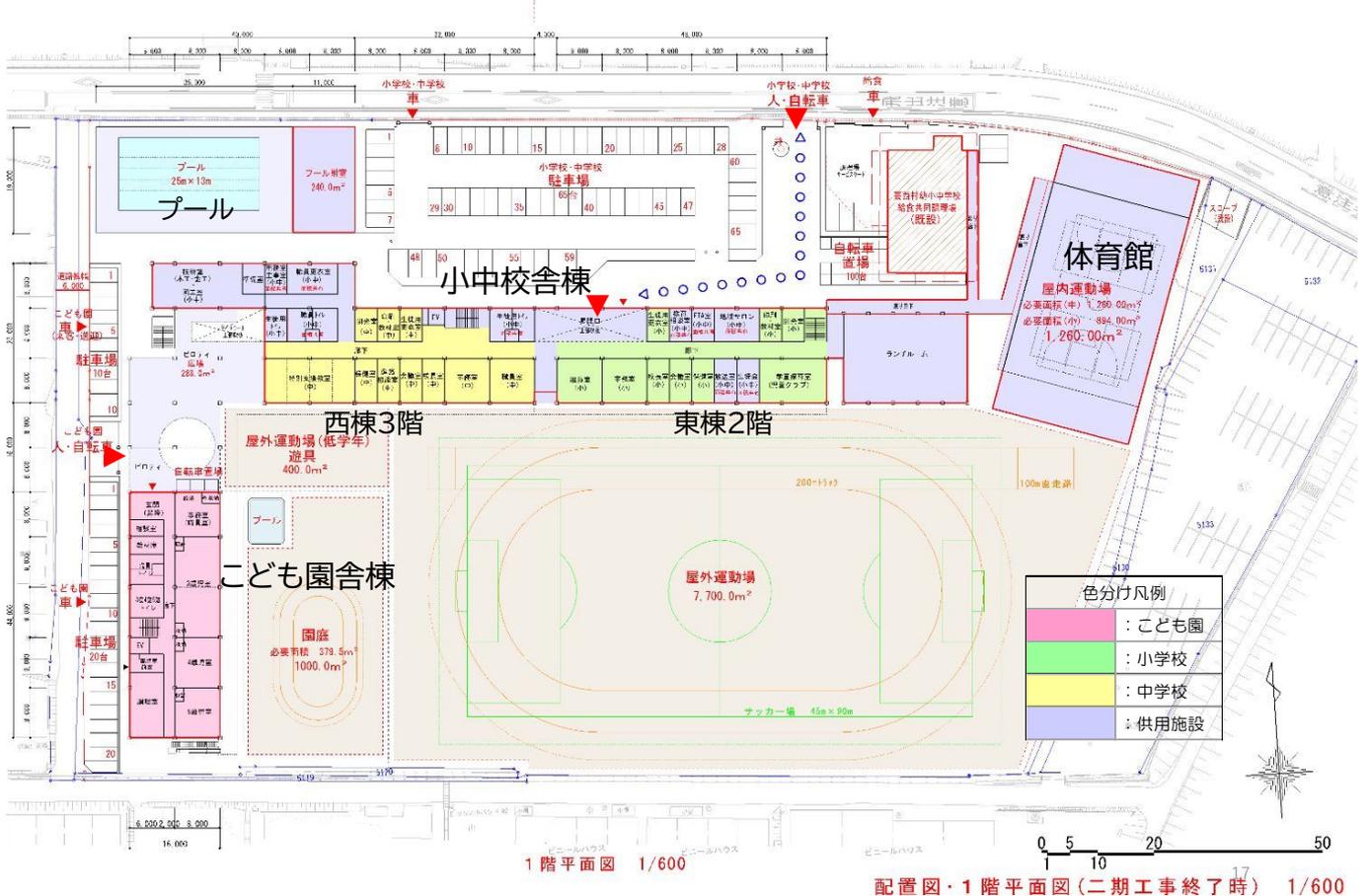
各階平面図(一期工事終了時) 1/600

【基本計画案】

← 第一期工事 第二期工事 →

完成時

B2案(二期工事)
駐車台数 合計 95台



【基本計画案】

← 第一期工事 第二期工事 →

完成時

B2案(二期工事)



【基本計画 面積算出表】

		1階		2階		3階		合計	
名称		面積 (m ²)		面積 (m ²)		面積 (m ²)		面積 (m ²)	
一期	校舎(小・中学校)	1,104.0		1,350.0		1,218.0		3,672.0	
	校舎ピロティ	278.0						278.0	
			1,382.0		1,350.0		1,218.0		3,950.0
	園舎(こども園)	704.0		576.0				1,280.0	
	園舎ピロティ	177.5						177.5	
			881.5		576.0				1,457.5
	一期小計		2,263.5		1,926.0		1,218.0		5,407.5
二期	校舎(小・中学校)	908.0		764.0				1,672.0	
	ランチルーム	352.0						352.0	
	渡り廊下	192.7						192.7	
			1,452.7						2,216.7
	屋内運動場	1,260.0						1,260.0	
	プール附室	209.0						209.0	
	プール(屋外)	665.0						665.0	
		2,134.0						2,134.0	
二期小計		3,586.7		764.0				4,350.7	
合計		5,850.2		2,690.0		1,218.0		9,758.2	

19

【完成予想全体CG】



口上空真上から

20

【完成予想全体CG】



□南東上空から

21

【完成予想全体CG】



□北西上空から

22

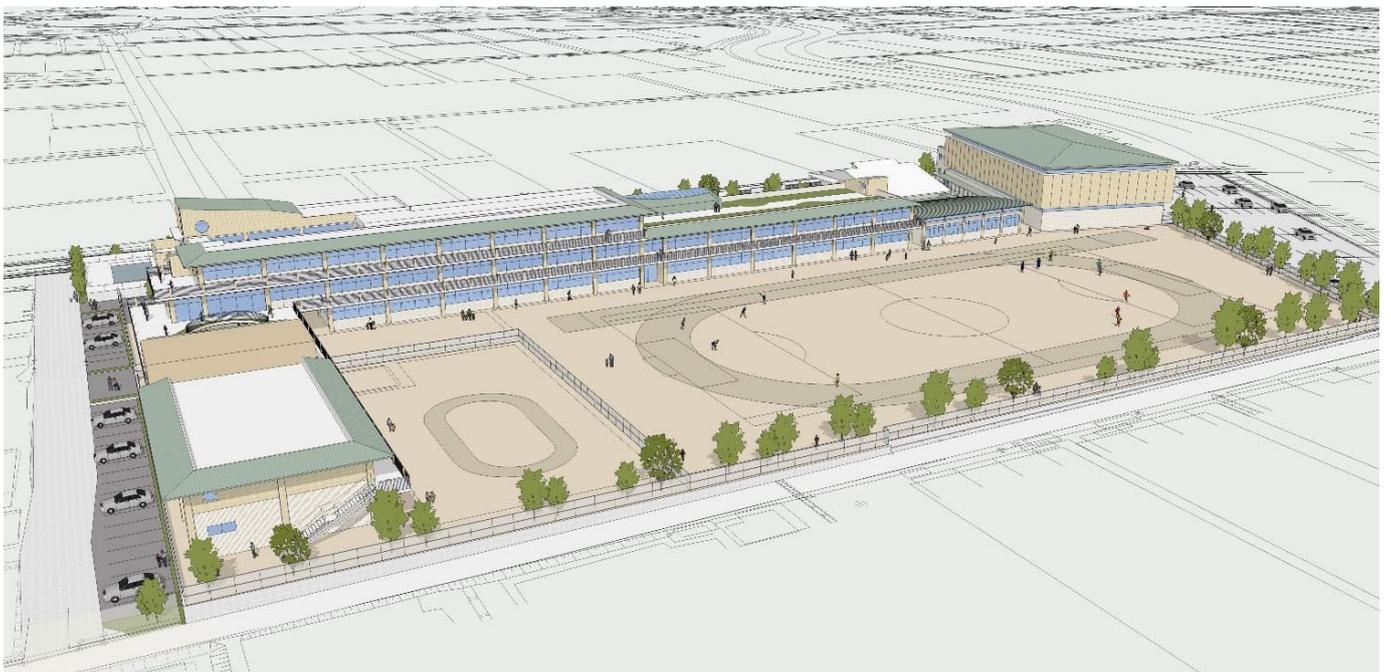
【完成予想全体CG】



□西側上空から

23

【完成予想全体CG】



□南側上空から

24

【完成予想全体CG】



□小中学校の駐車場出入口附近から

25

【完成予想全体CG】



□こども園の出入口正面附近から

26

【こども園詳細完成イメージCG】



◆こども園入口のピロティと小中校舎(西棟)の玄関口附近を見る

27

【こども園詳細完成イメージCG】



◆こども園の園庭からこども園舎(左手)と小学校舎(右手)を見る

28

【こども園詳細完成イメージCG】



◆図書館前の2階テラスからこども園2階の遊戯室を見る

29

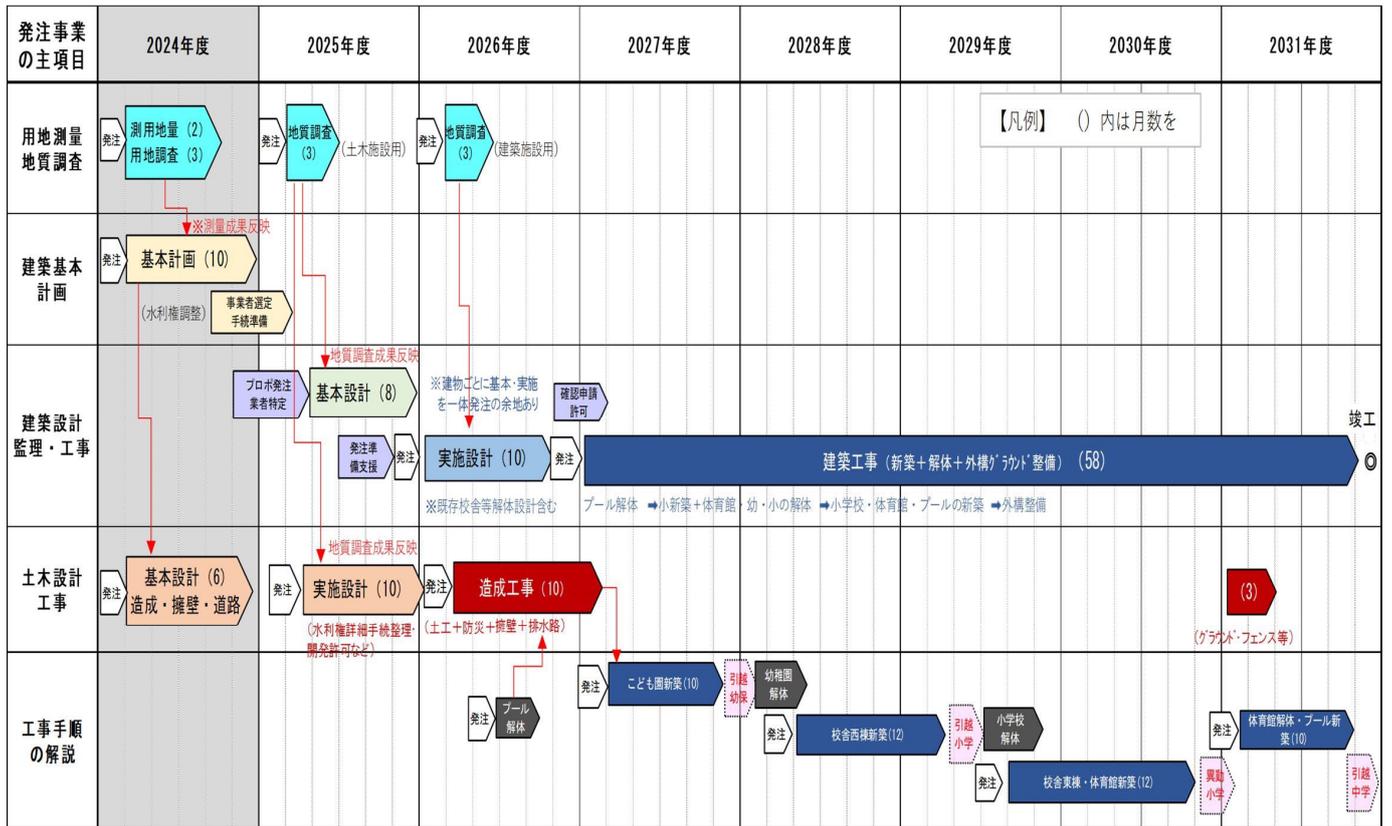
【こども園詳細完成イメージCG】



◆こども園遊戯室から、外部のテラス～小学校舎を見る

30

【ロードマップ（全体事業工程）】



31

【今後の主な課題について】

【施設配置計画からの制約】

- ・ 仮設校舎を建設しないで、現在と同じ「北側に校舎+南側にグラウンド」配置を条件としたため、解体や整備の**施工手順が複雑**で、小学校**移転も複数回**となり、**工事期間が長期に渡る**計画となっている。
- ・ 工事期間中の学校運営と安全利用のための管理方法、詳細手順や工法等を設計初期段階で十分に検討しておく必要がある。

【事業費低減や年間支出額軽減】

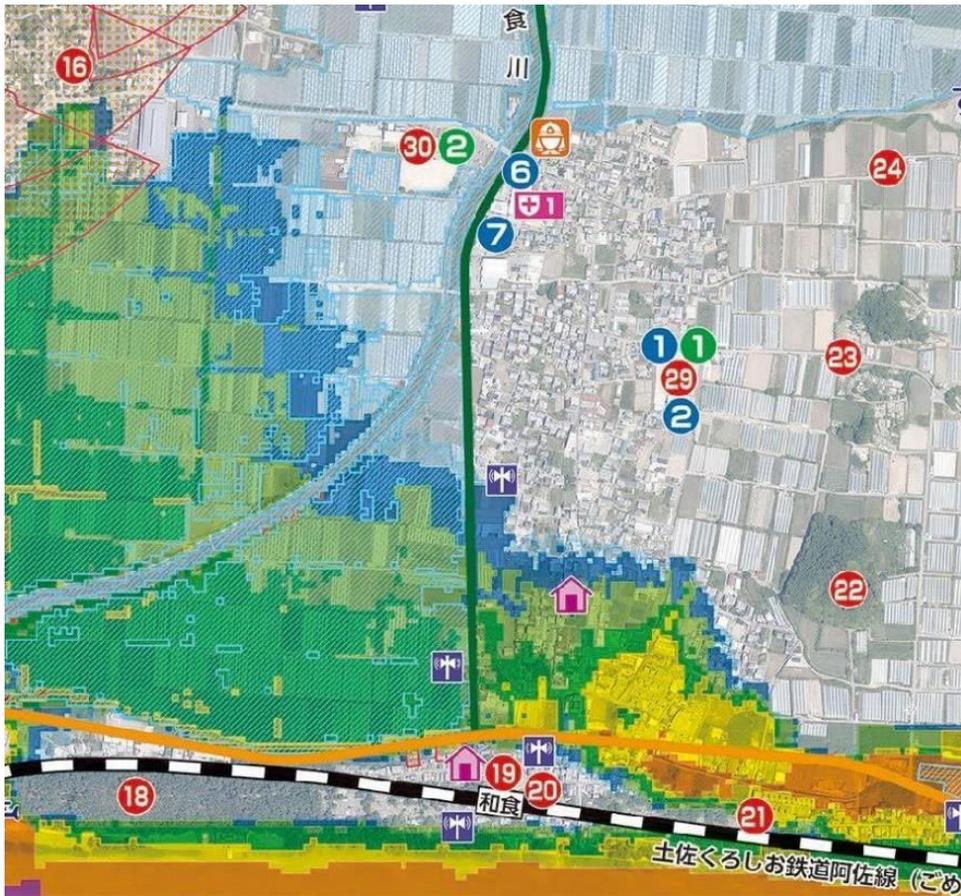
- ・ 現施設は杭基礎であり、この撤去費を見込んでいたが、新施設の杭位置をズラすなど、杭撤去を減らすほか、全般的に建設費の低減が課題である。
- ・ また、前述の工事期間を長期に渡らせることで、事業費が細分化されて、年間支出額が低く抑えられる面もあることから、総合的な検討余地がある。

【災害対策等】

- ・ 想定外の浸水災害に備えて、人的安全性の確保に加えて、電源等の設備機器類の浸水防止策を講じておく。

32

【安全安心の確保】～ハザードマップから～



凡 例	
	津波浸水想定区域(10.0m～15.0m未満)
	津波浸水想定区域(5.0m～10.0m未満)
	津波浸水想定区域(3.0m～5.0m未満)
	津波浸水想定区域(2.0m～3.0m未満)
	津波浸水想定区域(1.0m～2.0m未満)
	津波浸水想定区域(0.3m～1.0m未満)
	津波浸水想定区域(0.3m未満)
	ため池はん濫浸水想定区域

避難場所		
No.	名 称	所在地
30	小学校	和食甲1188

津波避難ビル		
No.	名 称	所在地
1	中学校屋上	和食甲2262
2	小学校3階・屋上	和食甲1188

高知県
津波浸水想定図

芸西村教育施設集約化 第1回ワーキング部会

住民説明会結果とWSの進め方

令和7年5月29日

芸西村教育委員会
復建調査設計(株)

本日のプログラム（流れ）

1. 事業の経緯と今年度の取り組み【5分】

- 1.事業の背景と事業方針
- 2.経過説明～今年度の取り組み

2. R6基本計画案についての説明【15分】

- 1.基本構想の概略
- 2.基本計画の説明

4. 第1回住民説明会の意見と対応～WS進め方【15分】

- 1.住民説明会の意見と対応について
- 2.本日のWS（ワークショップ）の進め方

5. 班ごとのWS／テーブルワーク【60分】

- 1.プロジェクト（施策）の点検・意見交換
- 2.まとめ～発表準備

6. 発表・振り返り【20分】

7. 閉会あいさつ～記念撮影～参会

35

3. 第1回住民説明会の意見と対応 1/2

1) 敷地選定について

◇この場所以外に適地はないか？

◇保育教育4施設を集約化する敷地として妥当なのか？

→ない。ここを敷地として計画、事業化する。

2) 敷地の災害リスク対策はどうか

◇津波が来た場合に大丈夫か？◇浸水時に迎えに行けるのか？

特に乳幼児の避難や迎えが心配であるがどうか？

- →宅地高さの安全性、建物屋上への避難階段設置、引き続きここを利用する上でリスク増加はない。可能な範囲で宅地やフロア高の嵩上げ等も検討する。

3) 幼保小中の統合集約化について

◇幼保は別な場所でも良いのではないか？中学校跡地など別敷地にできないか？

- →ここに4施設を集約する。幼保の中学校跡地への移設は困難と考える。

4) 工事中の学習環境の確保＝騒音・振動対策など

◇この計画（北側校舎）では近接による環境悪化や長期間工事は耐え難い。

→「南側に校舎配置案」等も検討する。今後、素案を提示し意見交換予定

36

3. 第1回住民説明会の意見と対応 2/2

5) プール施設について

◇工事期間が長く、**プールが使えない時期**はどうするのか？

→「**南側に校舎配置する案**」ほか、**使えない期間を短くする**。

◇小中共用型では、先の高知市内の事故もあり、**安全対策**をどう考えるのか？

→移動床の設備導入すれば、**10cm/分の速さ**で休み時間内で切り替えが可能

→小中の日時や時限を離すなど、**置き型タイプ**の上げ床も検討したい

6) 構内駐車場について

◇現4施設で合計**76台**在使用中。現計画の**95台**の駐車場を設ける必要があるか？

- →**東隣村駐車場**を割付け直せば**10台以上は増える**。
- →**保育所跡地**と**青果市場の東隣村駐車場**の利用は可能性あり

7) クラス定員数について

◇将来は低人数教室となっていく場合に**クラス数**が足りるのか？

- →将来に**児童生徒数**が減少するため、自然と**少人数教室**になるのではないか。

37

4. WS（ワークショップ）の進め方

「ワークショップ」とは？

数名のグループごとに話し合うアイデア出しの手法の1つです。

【ルール】

- **テーマに則して率直に！**
- **相手の意見を否定しないように！**
- **自分と違う意見も尊重、学び合う場に！**
- **平等に意見を出し合えるように！**
- **楽しみやりましょう！**
- **意見を一つにまとめるものではありません！**



38

4 WS（ワークショップ）スケジュール：全3回

全体の流れ

日程	◆検討委員会	■ワーキング部会（WS）	●住民説明会
令和6年 ～ 7年3月	◆第1～4基本計画検討委員会 ・配置・規模・事業計画等検討		●第1回住民説明会 R7.3.2
令和7年 5月29日	◆第5回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果の報告 ・今年度の進め方	■第1回住民WS（5月） ・これまで計画～設計条件 ・住民説明会の意見と対応方針 ・基本計画の点検・評価	
7月下旬 ～9月上旬	◆第6回基本計画検討委員会 ・第1回WS結果と対応方針 ・今年度の進め方	■第2回住民WS（7～8月） ・変更案の提示と意見交換 ・比較案検討、優先順位付け	●第2回住民説明会
10月～ 11月	◆第7回基本計画検討委員会 ・住民説明会結果報告認 ・今年度の進め方	■第3回住民WS（9月） ・最終案確認～利用計画等の意見交換 ・課題抽出～基本設計条件の提示	●第3回住民説明会
12月 ～ 令和8年3月	とりまとめ ～ 基本設計業者の選定準備期間		

4. WS（ワークショップ）本日の流れ

(1) 自己紹介（5分まで）

- ・名前と職業・活動など、一言で簡単に（一人30秒まで！）

(2) 次に今回計画されている内容について点検・評価をしてください。

- ・最初には、**良い点、問題・課題、疑問点**、について、指定の色カードでコメントを記入、順番にシート上に貼って行ってください。（25分）
- ・次には、上記の問題点・課題に対して、**改良・改善策**のアイデアを提案してください。（25分）
- ・カードには**一つのことのみ**を。同じこと内容は、重ねて貼ってください。
- ・とりまとめで、発表準備を終えてください。【5分】

4. WS (ワークショップ) の進め方について

ポストイット (付箋紙) カードの書き方

良い点

こども園2階テラスは魅力的
幼児避難場にもグッド!

課題・問題点

工事期間が長
過ぎ
工事中の教育
環境が悪い!

疑問点

工事期間中の
プール使用は
できないのか

改良策

校舎をグラン
ド南側に配置
すれば良いか



4. WS (ワークショップ) の進め方について

成果のイメージ

プロジェクト名称	■ 良い点	■ 課題・問題点	■ 疑問点	■ 改良・改善アイデア
④ 施設の配置について 【小学校】 【中学校】 【こども園】	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■	■ ■ ■ ■
⑤ 動線・アクセスについて				
⑥ 構内 (構外) 駐車場について				
その他				

4. WS (ワークショップ) 発表

発表の様子

- (1) 各班から発表 (4分まで×4班=16分)
 - 各班の進行役からワークシート (模造紙) を見せて、説明してください。
- (2) 全体進行役が総括します。(4分)



データ各種【集約化の各施設の規模／園児・児童・生徒数／人口推計表】

☐ 芸西村学校教育施設の対象施設の概況表 (令和7年5月)										
項目	保育所		幼稚園		小学校		中学校		民地	
計画敷地			16,781		m ²				5,134 m ²	
敷地面積	2,230	m ²	1,859	m ²	14,043	m ²	8,877	m ²	畑 (ハウス)	
延床面積	610	m ²	630	m ²	4,103	m ²	合計 3,143	m ²	合計	
					2,880	m ² 校舎	2,193	m ² 校舎		
					533	m ² 体育館	950	m ² 体育館		
					370	m ² 食堂				
					320	m ² 調理場				
構造階数	RC造1階建		RC造1階建		RC造3階建		校舎棟	RC造3階建	校舎棟	
					SRC造1階建		体育館	SRC造1階建	体育館	
諸室数	8	室 保育室	4	室 保育室	12	室 教室	6	室 教室		
					4	室 特支室	2	室 特支室		
室面積	42	m ² 大4室	63	m ²	65	m ²	59	m ²		
	35	m ² 小4室								
主特室	1	室 職員室	1	室 職員室	1	室 職員室	1	室 職員室		
	1	室 遊戯	1	室 遊戯	1	室 理科室	1	室 理科室		
	1	室 厨房			1	室 音楽室	1	室 音楽室		
					1	室 家庭科	1	室 家庭科		
					1	室 PC室	1	室 PC室		
					1	室 図書室	1	室 図書室		
							1	室 技術室		
							1	室 被覆室		

令和7年度 園児・児童・生徒数および職員数							
			令和7年5月1日				単位：人
保育所		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	合計	職員数
	計	2	11	18	17	48	23
幼稚園		男	女	計	学年別計		職員数
	うみ	11	7	18	18		
	そら	12	12	24	24	幼保合計	
	計	23	19	42	42	90	

※（ ）は特別支援学級人数（内数ではない）

小学校		男	女	計	学年別計	職員数
	1	16	7	23	28	
		(5)		(5)		
	2	5	14	19	23	
		(4)		(4)		
	3	12	13	25	31	
		(4)	(2)	(6)		
	4	14	17	31	33	
		(1)	(1)	(2)		
	5	13	13	26	27	
(1)			(1)			
6	11	15	26	28		
	(1)	(1)	(2)			
計	41	47	88	170		
特別支援 学級（人数は再掲）	ひまわりA（備）	5(1年3(2年)		8		
	ひまわりB（備）	3(3年1(4年)	2(3年1(4年)	7		
	ひまわりC（備）	1(5年1(6年)	1(6年)	3		
	すみれ（知）	1(2年1(3年)		2		

45

令和7年度 園児・児童・生徒数および職員数							
			令和7年5月1日				単位：人

中学校		男	女	計	学年別計	職員数	
	1	16	14	30	33		
		(1)	(2)	(3)			
	2	16	9	25	25		
		3	8	11	19		21
計	26	20	46	79			
特別支援 学級（人数は再掲）	みどり（備）	1(3年)	2(1年)	2	小中合計		
	すみれ(知)	1(1年1(3年)		2		249	
					総合計	339	78

46